

1.開発/テスト環境の説明（1/2）

■ 開発/テスト環境の説明

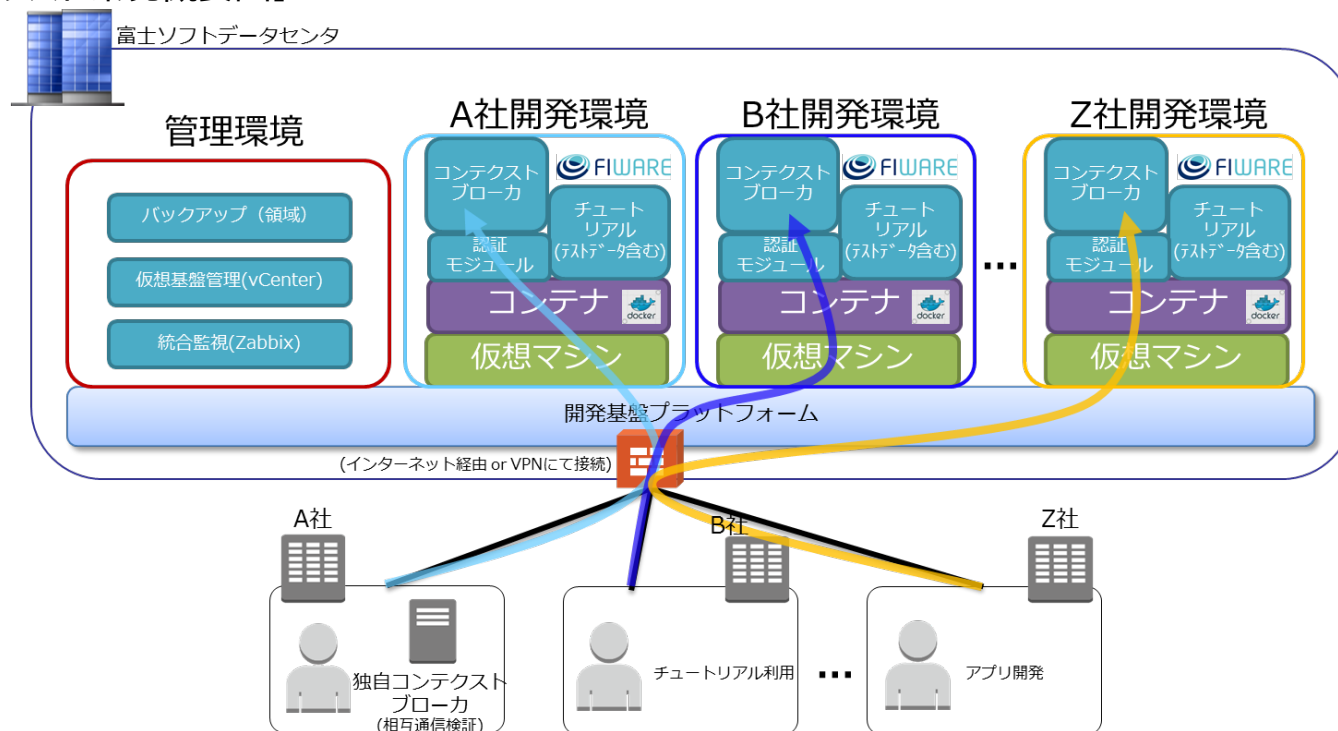
開発/テスト環境について以下にご説明します。

仮想マシン：1社に1台の仮想マシンをご提供（Root権限を付与）

テストデータ：チュートリアルデータの利用、また各社プラットフォーム上でのデータをテストデータとして利用

接続方法：VPN接続（仮想マシン操作）・インターネット接続（PF間接続）にて開発/テスト環境に接続

【開発/テスト環境概要図】



1.開発/テスト環境の説明（2/2）

■ 開発/テスト環境の可用性

開発/テスト環境においての可用性について、以下の通りとなっております。

また、2重障害については考慮しないこととします。

No	コンポーネント	可用性の有無	可用性方式	備考
1	物理サーバー	-	-	1台構成のため
2	CPU	-	-	冗長不可のため
3	メモリ	-	-	冗長不可のため
4	ハードディスク	○	RAID構成	RAID1、RAID10
5	物理サーバ電源	○	電源冗長	-
6	ネットワーク機器電源	-	-	冗長不可のため
7	ネットワーク(FW)	-	-	1台構成のため
8	仮想マシン	-	-	1台構成のため

■ 開発/テスト環境の拡張性

【スケールアップ】

メモリ以外は既に最大数まで搭載しているため、リソースが不足した場合はスケールアウトにて対応します。

コンポーネント	容量(1枚)	導入時点数量	導入時点容量	追加可能数量	最大容量
メモリ	32 GB	14枚	448GB	10枚	768GB

【スケールアウト】

28社より多くなった場合は物理サーバを増設し

スケールアウトにて対応します。

※拡張については、来年度以降に検討します。



2.開発/テスト環境の認可（1/5）

■ 開発/テスト環境の認可

開発/テスト環境への接続・利用するにあたり、いくつか制約事項や厳守頂きたい事項が御座います。

それらを全て了承頂いた上で接続申請を行って頂きます。

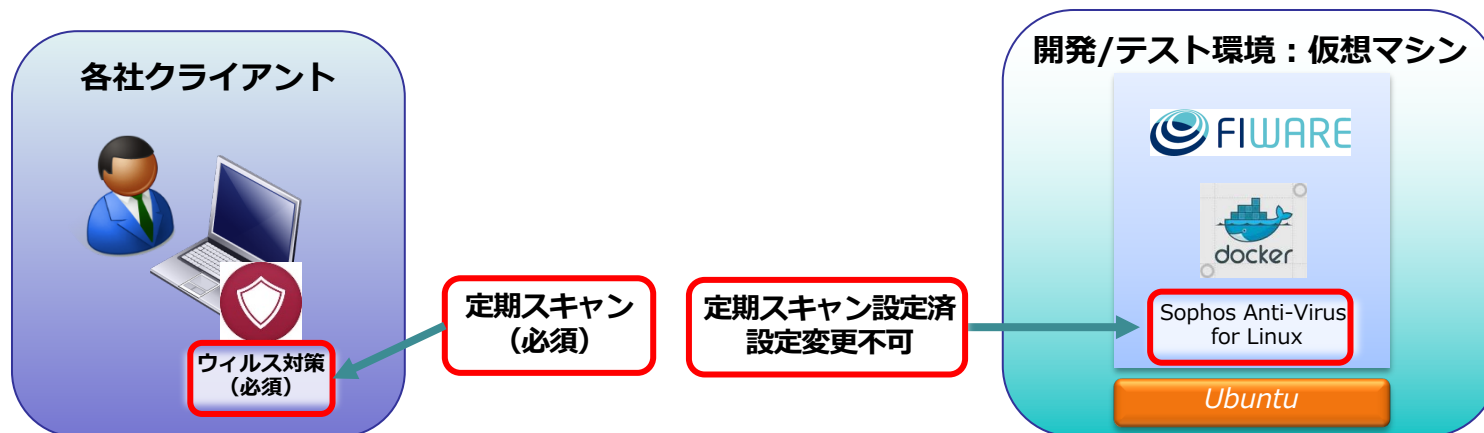
制約事項・厳守頂きたい事項については、以下より記載致します。

1. セキュリティ対策

開発/テスト環境への接続を行う各社クライアントについて、必ずウィルス対策を行って頂きますのでご理解・ご協力をお願い致します。（ソフトウェアについては、各社にて準備）

また、定期スキャンの実施がされることも必要となります。

開発/テスト環境については、ウィルス対策ソフトを導入しており定期スキャンを実施します。（設定変更不可）



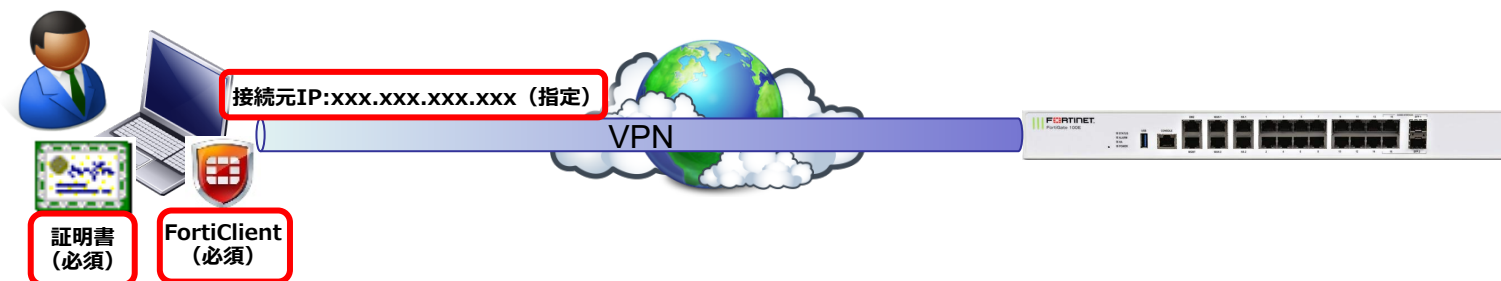
2.開発/テスト環境の認可（2/5）

2. 仮想マシンへの接続

【VPN接続】

VPN接続は、セキュリティ強化の為に接続申請した後の返信メールに添付される証明書を使用します。

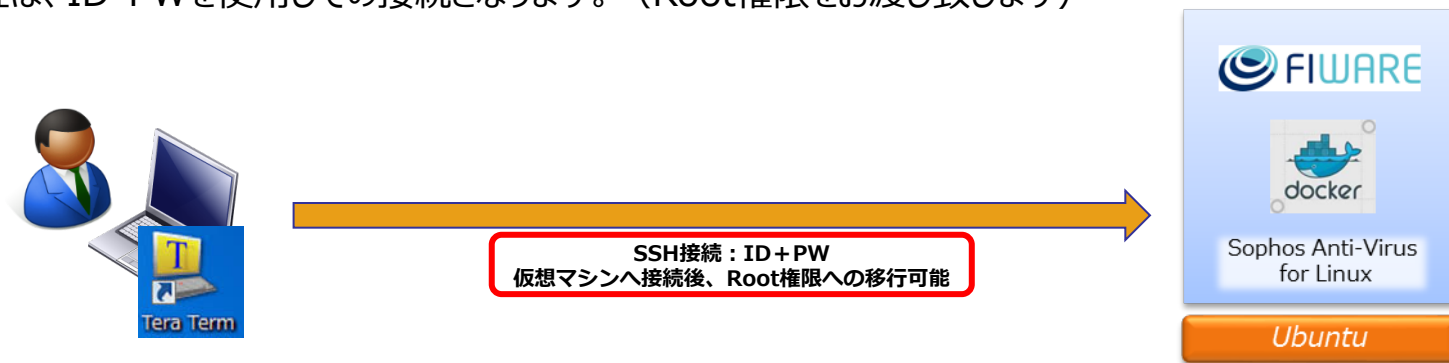
また、接続用ソフトウェア+バージョンを指定しております。このソフトウェアについても接続申請後のメール返信にて添付される物を使用します。 ※指定以外のソフトウェアを使用した場合、サポート対象外と致します。



【仮想マシン接続】

VPN接続後、各社にご用意している仮想マシンへはSSHにて接続を行って頂きます。

認証は、ID・PWを使用しての接続となります。（Root権限をお渡し致します）



2.開発/テスト環境の認可（3/5）

3. プラットフォーム間接続

各社プラットフォームから開発/テスト環境のプラットフォームを接続する際にポートフォワーディングを利用します。
また、開発/テスト環境から各社プラットフォームへの接続は、FWにてポートを閉じておりますのでポート開放を依頼することが必要となります。どちらの場合も申請を行って頂く必要が御座います。

 :利用者対応

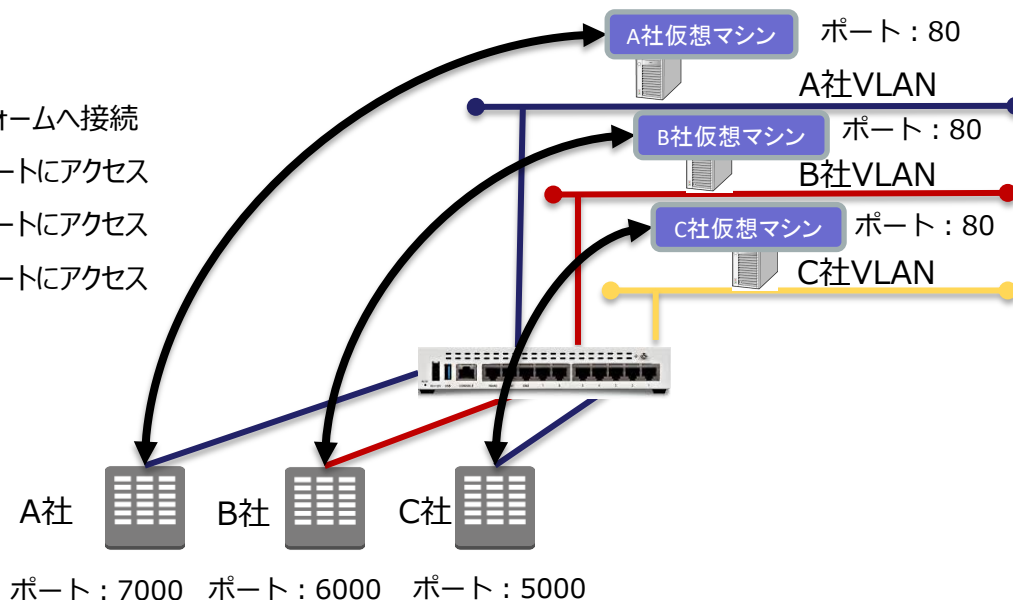


【参考】A～C社のプラットフォームから開発テスト環境のプラットフォームへ接続

A社:7000番ポートを使用して、A社仮想マシンの80番ポートにアクセス

B社:6000番ポートを使用して、B社仮想マシンの80番ポートにアクセス

C社:5000番ポートを使用して、C社仮想マシンの80番ポートにアクセス



2.開発/テスト環境の認可（4/5）

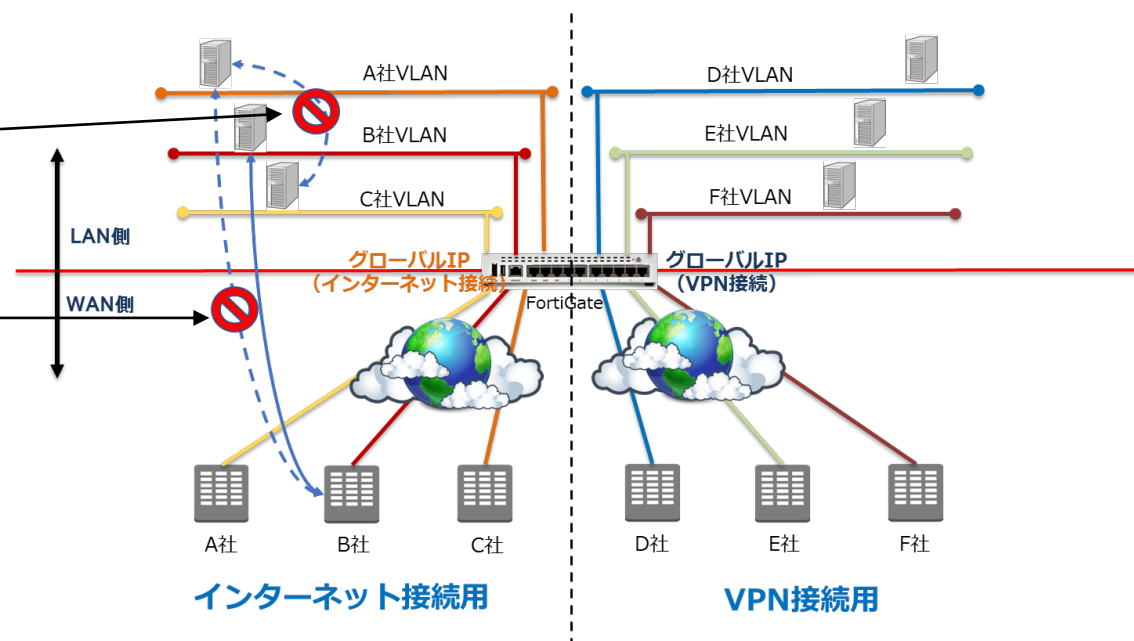
4. 企業間連携

企業間連携について、ウィルス感染時の被害拡大等を防ぐためセキュリティ強化の一環として各社毎のVLANを設定しており、VLAN間の通信は遮断しておりますので企業間でのデータ連携はできない構成となっております。

開発/テスト環境の他社プラットフォームとの連携を行う場合は、来年度以降となりますがPF接続実証委員会・技術ガイダンス委員会と協議の上、検討致します。

【参考】

1. 開発/テスト環境内のA社プラットフォームとC社プラットフォームは、連携できません。
2. B社が持つプラットフォームと開発/テスト環境内のA社プラットフォームは、連携できません。



2.開発/テスト環境の認可（5/5）

5. メンテナンス時の利用停止

定期メンテナンスと不定期メンテナンスの2つを定義し、定期メンテナンスは開発/テスト環境のメンテナンス（仮想環境・FW・NW等）、不定期メンテナンスはバックアップ・リストアについてのこととします。

メンテナンスの内容によりサービスの停止が発生致しますので、ご了承頂けるものと致します。

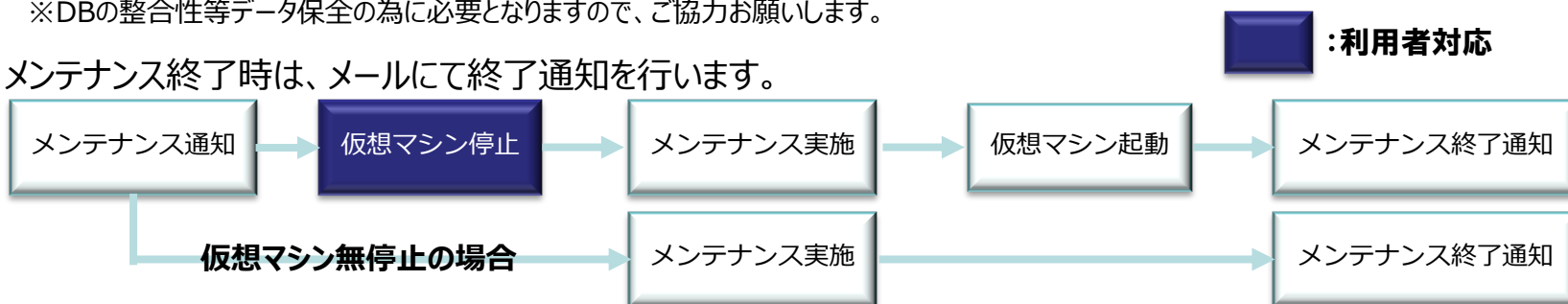
【定期メンテナンス】

定期メンテナンス時は、メールにて事前通知を行います。

仮想マシンの停止が必要となるメンテナンス時には、各社にて仮想マシンの停止を行って頂きます。

※DBの整合性等データ保全の為に必要となりますので、ご協力お願いします。

メンテナンス終了時は、メールにて終了通知を行います。



【不定期メンテナンス：バックアップ・リストア】

バックアップ・リストアを実施したい場合は、メールにてご依頼後に仮想マシンの停止を各社で行って頂きます。

対応完了後、メールにて完了通知を行います。

※リストアは、取得したバックアップからのリストアと初期上へのリストアの2つが御座います。

